

エレクトーンを自身で楽しむ理事長・学長の絶大な支持のもと、新機種への対応もいち早く



原口尚子先生を中心に、電子オルガン専攻とピアノ応用専攻の学生さん。原口先生は大変やさしく、「ほめてくれるので大好き」と学生にも大人気。2年間までの細かい個人レッスン、アンサンブル演奏、教職で教育実習や分業実習などあり、忙しいがやりがいはある。

## 電子オルガンが学べる学校の草分け。創設から20年を迎え、常に新しい音楽の可能性に前向きに進む

宇都宮郊外の高台にある宇都宮短期大学。学食や図書館、そして教室からの眺めは最高！ 空気が清々しい。新年号にふさわしく、今月は電子オルガン専攻の草分け宇都宮短期大学をご紹介します。



電子オルガン専攻とピアノ応用専攻が合同で授業を受ける。



澄み切った空気がおいしい。寮も近くに完備されていて、学生は全国から集まっている。

宇都宮短期大学  
〒321-0346  
栃木県宇都宮市下荒針町長坂 3829  
TEL.028-648-2331 (代)  
FAX.028-648-9870  
ホームページ  
<http://www.ujc.ac.jp>



創作編曲講座の授業風景。学生ふたりが協力して、クラシックの曲を選び、スコアからアレンジし、演奏する。クラシックの勉強は入学してからの人が多いが、基礎力を身につけるためには必要な勉強だ。



▲左は学長になって2年目の須賀英之学長。学園祭では飛び入りでエレクトーンを演奏。この日も「Jupiter」を演奏してくれた。右は電子オルガン専攻創設のため、尽力された須賀 淳理事長。エレクトーン歴も長い。3段鍵盤を軽快に弾かれ、学生も手拍子打って応援していた。その楽しそうな演奏姿に、本当に音楽がお好きなのだ実感。

「月刊エレクトーン」2006年11月号より抜粋転載